

平成 27 年度

# 事業報告書

平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 まで

公益社団法人東京都リサイクル事業協会

## 平成 27 年度事業報告

### I 概況

平成 27 年度の日本経済は、企業利益が名目 GDP500 兆円を超え過去最高水準に達したが大企業中心の実績で、景気回復の波は中小企業や小規模事業者には行き渡らなかった。加えて中国経済の減速が鮮明となり、個人消費や設備投資等の景気動向指数は懸念材料を抱える等、安倍政権が 3 年余にわたり進めてきたデフレ不況脱却政策は一進一退の足踏みの様相を呈している。

再生資源流通では、世界的な経済先行き不安を背景とし、古紙・カレットを除く、鉄・非鉄スクラップ・廃プラスチック等において軒並み市況が悪化した。とりわけ古繊維は、大口輸出先国の政策転換等により、貿易統計とは裏腹に実質国内マーケットに大きな影響を及ぼした。

長年の懸案である古紙持ち去り問題は、関東製紙原料直納商工組合と行政との協働による GPS 追跡調査をはじめとし、関係各者で多様な取り組みが実施されてきた。古紙持ち去り問題意見交換会の古紙持ち去り根絶宣言車両識別制度の登録車両も 1,100 台を越えた。一部の自治体では本識別制度を利用し、ステッカーを行政車両へ貼付する準備をはじめめる等、持ち去り古紙が流通しづらい環境づくりが、着実に整備されてきたといえる。しかし、常習的持ち去り事業者と買取問屋に対する顕著な効果は未だ見られておらず、今後、行政・警察等と一層の連携強化策を検討する必要がある。

2020 年の東京オリンピック・パラリンピックを 5 年後に控え、これを機に将来を見据えた効率的で持続的なリサイクルシステムの構築を企画する時期にきている。その意味で多品目・業種・業態を超えたネットワーク体である当協会が果たすべき社会的役割は益々高まってきているといえる。

東京のリサイクルの質を高めるシステム構築が当協会の最大の目標である。各会員団体のみならず行政・都民等の関係諸機関との連携・協力をいっそう強化し、これからも地道に公益事業の展開を図っていくこととしたい。以下に平成 27 年度に実施した個別事業を報告する。

### II 個別事業

#### 1 【公 1】 再生資源リサイクルに関する調査研究事業

都民・行政・リサイクル関連業界及び当協会会員向けに次の調査研究活動を行った。

##### (1) 古紙持ち去り防止策の具体的検討

東京都環境局による「古紙持ち去り問題対策協議会」のとりまとめを受け、リサイクル業界としての具体的対応を図るため、以下 8 団体による「古紙持ち去り問題意見交換会」では「古紙持ち去り根絶宣言車識別（ステッカー）制度」を立ち上げ、4 年目を迎えた。登録車両は 1,168 台（3/29、第 9 回公表）となった。当会は他団体の事務局と協力し同意意見交換会の運営や本制度の運営と車両公表等を行った。

構成団体：全国製紙原料商工組合連合会/日本再生資源事業協同組合連合会/関東製紙原料直納商工組合/関東資源回収組合連合会/東京都製紙原料協同組合/東京都資源回収事業協同組合/神奈川県リサイクル産業団体連合会/公益社団法人東京都リサイクル事業協会

また、東京都環境局や警視庁・都内自治体・関係諸機関等の情報交換を頻繁に行なうとともに、都環境局主催の「古紙持ち去り根絶情報交換会」におけるリサイクル業界側の情報のとりまとめや調整等を行った。

## (2) 行政との情報交換会等の実施

東京都や23区と、情報交換会を開催し、行政に対してリサイクル流通実態や行政課題についての情報交換を行った。

(7/21、東京都環境局廃棄物対策部 於：都庁第2庁舎10F213会議室

2/8、廃棄物処理料金改訂経過説明会（東京二十三区清掃一部組合）東資協会議室

3/2、東京23区課長会リサイクル分科会 於：東京区政会館20F 205会議室)

## (3) 地域懇談会の開催

北区リサイクラー事業協同組合の協力を得て、リサイクル事業実施にあたって同組合の工夫や行政との協働のあり方等について報告いただき、持続・効率的なリサイクル事業のあり方について研究会を行った。(6/5、参加者37名、北とぴあ7F第2研修室B)

## (4) 小規模事業所における古紙リサイクルシステム（東商エコリーグ）の調査

### <東京商工会議所受託事業>

東京商工会議所とタイアップし平成7年より展開してきた、小規模オフィス等における古紙回収システム運営にあたっての情報収集と回収量のとりまとめを実施した。(H26年度古紙回収量1,349トン、参加事業者数1,410、実施区11区)

## (5) 国内外におけるリサイクル事情の調査

国内外の視察を通じて、リサイクルシステム構築の工夫や再生資源流通の動向等について情報収集するために以下の調査研究を行った。

①国内視察会（11/26～27、訪問先：㈱西日本ペーパーリサイクル（古紙敷料製造等）、日本資源流通㈱廃プラスチックリサイクル施設、新日鉄住金八幡製鉄所（高炉・熱間圧延工場）、北九州市環境局循環社会推進部循環社会推進課、参加者：10名）

②海外（バンコク）視察会（2/18～21、訪問先：サイアムクラフト社[製紙メーカー]、HIDAKA スズトク社[鉄スクラップ]、バンコク都（BMA）[行政庁]、ワンパニー社[再生資源ヤード] 参加者：10名）

## (6) 行政回収システム等の調査研究

回収システム調査会（第5～11回）により、リサイクルの持続・効率的なあり方を構築するため、阻害要因や課題等について検討を行った。本年度は、古繊維回収システムの実態把握、行政の入札制度への環境省通知の検討、「持続可能性に配慮した運営計画 フレームワークへの提案」（東京オリンピック・パラリンピック組織委員会）としてパブリックコメントを作成、提出した。

## 2 【公2】 再生資源リサイクルに関する普及啓発事業

### (1) リサイクルフォーラムの開催

「リサイクル事業委託のあり方と再生資源市場動向について」をテーマに、講演会及び古紙と古繊維の現状と課題について動向報告を行った。講師：和田 篤也様（環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課長）、吉田和正（（公財）古紙再生促進センター 業務部業務課 主査）中野聰恭（関東古繊維協会会長）

（2/16 於：ホテルメトロポリタンエドモント「悠久の間」 参加者 122 名）

## (2) 東京都消費者月間事業交流フェスタ出展

消費者問題の解決を図ろうと、都内の消費者団体と東京都が「くらしフェスタ東京 2015」を開催。当会は環境エリアに出展し、古紙持ち去り問題の啓発を目的としたクイズラリーの他、パネル展示・広報誌・リーフレットの配布を行なった。（10/9～10、場所：新宿西口広場イベントコーナー、広場訪問者：約 33,000 人）

## (3) 市民団体等のフォーラムへの情報提供及び協賛

リサイクル関連市民団体等のシンポジウムに参加し主要再生資源リサイクルの実態について報告等を行う他、同フォーラムに後援・協賛を行った。

第 20 回東京 23 区とことん討論会（7/29 於：足立区勤労福祉会館）協賛

第 23 回東京 TAMA とことん討論会（3/9 於：エコにこセンター）後援・協賛

横浜市資源リサイクル事業協同組合リサイクルデザインフォーラム 2015

（11/1 於：みなとみらい大栈橋ホール）協賛

## (4) 職場体験事業の実施

東多摩再資源化事業協同組合と協力し、東村山市内の中学生を対象に、回収車に同乗して行なう回収作業や選別ヤードでの作業体験、リサイクル講習会とテスト、紙すき体験を開催した。

（9/15～16、東村山市立第二中学校 参加者：10 名）

## (5) ホームページの更新

ウェブサイトを通じて、協会の活動や会員情報、情報誌・報告書の掲載等を行った古紙持ち去り問題根絶関連情報・再生資源市場の近況等、東京都や業界が公表している関連情報や識別制度登録車両の公表を行った。

## (6) 講師の派遣

平成 27 年度故繊維ウエイスト研究会（全国ウエイスト組合連合会）へ講師（事務局：後藤浩成）を派遣した。（演題：「外からみた故繊維業界」11/15、熱海温泉 湯宿「みかんの木」）

## (7) 環境 DVD の製作[特定費用準備資金]

環境 DVD 製作委員会（第 4～5 回開催）により、小・中学生を対象とした環境 DVD の発行にむけて、内容作成を行った。今年度は具体的コンテンツの内容等について検討し、来年度の発行を予定している。

## 3 【公 3】 情報誌の発行事業

都民・事業者・行政・協会会員を配布対象に、当協会の PR とリサイクル推進への理解と協力を求めるために、リサイクル情報誌「WE♥りさいくる」第 26 号を発行した。（7,000 部）主な記事は以下のとおり。

＜26号＞「再生資源リサイクル H27年 10大ニュース」「古紙持ち去り根絶対策情報」「＜視察報告＞北九州市リサイクル事情視察会報告」

#### 4 【公 4】顕彰及び表彰に関する事業

理事会において、表彰・顕彰事業の枠組みについて検討を行った。来年度、会員団体等の協力を得て実施する予定。

#### 5 【その他 1】 再生資源リサイクルに関する相談指導・研修事業

広く都内の事業所や都民の方から、事業系リサイクルシステムの構築の相談やリサイクルのしかた等についての電話相談を受け、必要に応じて関係行政機関への連絡や、会員企業等の紹介等を行った。

当会関係者対象に講演会を実施した。（「マイナンバー（個人番号・法人番号）導入後の実務対応セミナー」～今から準備しておくべき内容のポイント～ 講師：西川豪康氏  
5/26 於：ホテルラングウッド「鳳凰の間」 参加者 70名）

#### 6 その他法人の目的を達成するための事業

東京都廃棄物審議会に委員（副理事長：戸部 昇）を選出し、東京都廃棄物処理計画の改訂に協力した。

以上

平成 27 年度

# 決算報告書

平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 まで

公益社団法人東京都リサイクル事業協会

## 平成27年度収支計算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

## I. 一般正味財産増減の部

## 1. 経常増減の部

(単位:円)

科 目				備考(千円)
	予算額	決算額	差異	
(1) 経常収益				
①基本財産運用益	0	1,369	1,369	
基本財産受取利息	0	1,369	1,369	
②特定資産運用益	0	285	285	
受取利息	0	285	285	
③受取会費	12,780,000	13,139,093	359,093	
(a) 正会員会費収入	5,220,000	5,320,000	100,000	広域(7):@360×5、@120×1 地域(23):@100×1、@120×13、@150×3、@180×2、@210×1、@240×3
(b) 賛助会員会費収入	2,520,000	2,400,000	△ 120,000	@120×20
(c) 協賛会員会費収入	500,000	540,000	40,000	@40×9、@60×1、@120×1
(d) 一般協賛会員会費収入	1,000,000	900,000	△ 100,000	@50×18
(e) 事業会費収入	3,540,000	3,979,093	439,093	
-1 調査研究関連	2,500,000	3,247,413	747,413	視察会(国内)北九州市・(海外)バンコク都 リサイクルフォーラム(205) 関連団体シンポ協賛(210)
-2 普及啓発関連	260,000	415,000	155,000	
-3 情報誌関連	480,000	240,000	△ 240,000	
-4 研修関連	300,000	0	△ 300,000	
-5 その他	300,000	76,680	△ 223,320	東資協会議支援
④事業収益	300,000	300,000	0	
調査研究事業	300,000	300,000	0	東商エコリーグ調査委託
⑤雑収益	2,000	0	△ 2,000	
雑収入	2,000	0	△ 2,000	
経常収益計	13,082,000	13,440,747	358,747	

科 目				備考(千円)
	予算額	決算額	差異	
(2) 経常費用				
① 事業費			0	
公1 調査研究事業	6,023,000	9,502,556	3,479,556	事務局雑給賞与含む
1 給料手当	2,537,000	4,166,328	1,629,328	
2 会議費	64,000	54,923	△ 9,077	
3 旅費交通費	118,000	321,500	203,500	
4 通信運搬費	80,000	346,445	266,445	
5 事務消耗品費	73,000	115,421	42,421	
6 印刷製本費	184,000	424,944	240,944	
7 新聞図書費	15,000	0	△ 15,000	
8 研究開発費	2,500,000	3,196,980	696,980	北九州市(693)バンコク都(2503)
9 修繕費	0	0	0	
10 家賃	371,000	590,940	219,940	
11 光熱水費	76,000	78,375	2,375	
12 雑費	5,000	206,700	201,700	持ち寄り見交換会会費(60) 民力データ版(64)資料代(1.5)他
公2 普及啓発事業	3,324,000	2,237,812	△ 1,086,188	
1 給料手当	2,121,000	1,150,404	△ 970,596	
2 会議費	20,000	213,663	193,663	
3 旅費交通費	129,000	88,772	△ 40,228	
4 通信運搬費	85,000	121,676	36,676	
5 事務消耗品費	69,000	43,551	△ 25,449	
6 印刷製本費	140,000	117,335	△ 22,665	
7 新聞図書費	16,000	5,400	△ 10,600	
8 修繕費	0	0	0	
9 家賃	321,000	163,170	△ 157,830	
10 光熱水費	65,000	21,641	△ 43,359	
11 雑費	358,000	312,200	△ 45,800	関連団体シンボ協賛(260)展示会出展パネル・看板(38)古紙ヤード資料(5)他
公3 情報紙の発行事業	939,000	588,239	△ 350,761	
1 給料手当	311,000	248,736	△ 62,264	
2 会議費	0	0	0	
3 旅費交通費	2,000	19,194	17,194	
4 通信運搬費	193,000	65,845	△ 127,155	
5 事務消耗品費	38,000	6,891	△ 31,109	
6 印刷製本費	327,000	202,814	△ 124,186	
7 新聞図書費	10,000	0	△ 10,000	
8 修繕費	0	0	0	
9 家賃	44,000	35,280	△ 8,720	
10 光熱水費	9,000	4,679	△ 4,321	
11 雑費	5,000	4,800	△ 200	



科目	予算額	決算額	差異	備考(千円)
公4 顕彰表彰事業	0	45,490	45,490	
1 給料手当	0	31,092	31,092	
2 会議費	0	0	0	
3 旅費交通費	0	2,399	2,399	
4 通信運搬費	0	2,371	2,371	
5 事務消耗品費	0	861	861	
6 印刷製本費	0	3,171	3,171	
7 新聞図書費	0	0	0	
8 修繕費	0	0	0	
9 家賃	0	4,410	4,410	
10 光熱水費	0	585	585	
11 雑費	0	600	600	
② その他事業費				
その他1 研修及び相談事業	384,000	136,470	△ 247,530	
1 給料手当	120,000	93,276	△ 26,724	
2 会議費	193,000	0	△ 193,000	
3 旅費交通費	9,000	7,198	△ 1,802	
4 通信運搬費	14,000	7,114	△ 6,886	
5 事務消耗品費	7,000	2,584	△ 4,416	
6 印刷製本費	18,000	9,514	△ 8,486	
7 新聞図書費	16,000	0	△ 16,000	
8 修繕費	0	0	0	
9 家賃	6,000	13,230	7,230	
10 光熱水費	1,000	1,755	755	
11 雑費	0	1,800	1,800	

科目	予算額	決算額	差異	備考(千円)
③ 管理費	2,342,000	1,803,642	△ 538,358	
1 役員報酬	0	0	0	
2 給料手当	1,129,000	528,564	△ 600,436	
3 福利厚生費	0	0	0	
4 会議費	70,000	196,759	126,759	
5 旅費交通費	84,000	40,787	△ 43,213	
6 通信運搬費	109,000	40,311	△ 68,689	
7 新聞図書費	25,000	54,108	29,108	
8 事務消耗品費	70,000	14,643	△ 55,357	
9 修繕費	0	0	0	
10 印刷製本費	150,000	53,911	△ 96,089	
11 光熱水費	29,000	9,943	△ 19,057	
12 地代家賃	140,000	74,970	△ 65,030	
13 租税公課	3,000	5,450	2,450	
14 支払手数料	30,000	21,916	△ 8,084	
15 諸会費	39,000	39,000	0	東京商工会議所(15) 自民党各種団体(24)
16 交際費	200,000	340,880	140,880	
17 税理士報酬	259,000	259,200	200	
18 雑費	5,000	123,200	118,200	マイナンバー講演会講師(50)東京協組広告掲載 (30)都連各種団体研修会(17)陽春の集い会場費 他
経常費用計	13,012,000	14,314,209	1,302,209	

## 2. 経常外増減の部

科目	予算額	決算額	差異	備考(千円)
経常外収益計	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	

当期経常増減額	70,000	△ 873,462	△ 943,462	
当期経常外増減額	0	0	0	
法人税	70,000	70,000	0	
当期一般正味財産増減額	0	△ 943,462	△ 943,462	
一般正味財産期首残高	12,586,000	11,882,217	△ 703,783	
一般正味財産期末残高	11,882,000	10,938,755	△ 943,245	

## II. 指定正味財産増減の部

当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	

## III. 正味財産期末残高

正味財産期末残高	11,882,000	10,938,755	△ 943,245	
----------	------------	------------	-----------	--

## 正味財産増減計算書

自平成27年4月1日 至平成28年3月31日

(金額単位:円)

科目	前年度	本年度	増減
<b>I 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益			
会費収入			
正会員会費	5,220,000	5,320,000	100,000
賛助会員会費	2,520,000	2,400,000	△ 120,000
協賛会員会費	500,000	540,000	40,000
一般協賛会員会費	1,000,000	900,000	△ 100,000
公1調査研究事業会費(視察会)	1,709,014	3,247,413	1,538,399
公2普及啓発事業会費	740,000	415,000	△ 325,000
公3情報誌事業会費	480,000	240,000	△ 240,000
他1研修相談指導事業会費	64,700	0	△ 64,700
法人運営事業会費	597,680	76,680	△ 521,000
事業収入	300,000	300,000	0
<b>経常収益計</b>	<b>13,131,394</b>	<b>13,439,093</b>	<b>307,699</b>
(2) 経常費用			
事業費	11,125,685	12,510,567	1,384,881
給料手当・賞与	5,347,824	5,689,836	342,012
会議費	330,040	268,586	△ 61,454
旅費交通費	306,676	439,063	132,387
通信運搬費	536,355	543,451	7,096
事務消耗品費	289,287	169,308	△ 119,979
印刷製本費	904,605	757,778	△ 146,827
新聞図書費	5,658	5,400	△ 258
光熱水費	107,805	107,035	△ 770
地代家賃	758,520	807,030	48,510
研究開発費	1,949,594	3,196,980	1,247,386
諸会費	60,000	60,000	0
外注費	152,400	0	△ 152,400
雑費	376,921	466,100	89,179
管理費	2,641,190	1,803,642	△ 837,548
役員報酬	0	0	0
給料手当・賞与	870,576	528,564	△ 342,012
福利厚生費	0	0	0
会議費	70,780	196,759	125,979
旅費交通費	49,924	40,787	△ 9,137
通信運搬費	114,507	40,311	△ 74,196
新聞図書費	54,108	54,108	0
事務消耗品費	38,828	14,643	△ 24,185
修繕費	0	0	0
印刷製本費	90,509	53,911	△ 36,598
光熱水費	17,550	9,943	△ 7,607
地代家賃	123,480	74,970	△ 48,510
租税公課	1,800	5,450	3,650
支払手数料	20,536	21,916	1,380
諸会費	39,000	39,000	0
交際費	327,634	340,880	13,246
税理士報酬	345,600	259,200	△ 86,400
雑費	476,358	123,200	△ 353,158
<b>経常費用計</b>	<b>13,766,875</b>	<b>14,314,209</b>	<b>547,334</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 635,481</b>	<b>△ 875,116</b>	<b>△ 239,635</b>
<b>II 経常外増減の部</b>			0
経常外収益			0
受取利息	1,695	1,654	△ 41
経常外損益			0
法人税等	70,000	70,000	0
<b>当期正味財産増減額</b>	<b>△ 703,786</b>	<b>△ 943,462</b>	<b>△ 239,676</b>
<b>期首正味財産残額</b>	<b>12,586,003</b>	<b>11,882,217</b>	<b>△ 703,786</b>
<b>期末正味財産残額</b>	<b>11,882,217</b>	<b>10,938,755</b>	<b>△ 943,462</b>

## 貸借対照表

平成28年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金	232,588	
普通預金	8,428,892	
前払金	24,000	
未収入金	610,000	
流動資産合計		9,295,480
2 固定資産		
定期預金		
特定費用準備資金(普及啓発活動積立資金)	1,799,148	
その他の固定資産	0	
固定資産合計		1,799,148
資産合計		11,094,628
II 負債の部		
1 流動負債		
未払い金	0	
法人税等未払金	70,000	
前受金	40,000	
預り金	45,873	
流動負債合計		155,873
2 固定負債		
	0	
固定負債合計		0
負債合計		155,873
III 正味財産の部		
正味財産額		10,938,755
(内当期正味財産増加額)		-943,462
負債及び正味財産合計額		11,094,628

## 計算書類に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### 資金の範囲について

資金の範囲には、現金、預金、前払金、未収入金、仮払い金、未払い金、前受金および預り金を含めることにしている。

なお、前期末及び当期末残高は2に記載のとおりである。

### 2. 次期繰越収支差額の内容は次のとおりである。

科目	前期末残高	当期末残高
現金預金	9,155,284	8,661,480
前払金	0	24,000
未収入金	1,312,014	610,000
仮払い金	0	0
合計	10,467,298	9,295,480
未払金	394,566	0
法人税等未払金	70,000	70,000
前受金	0	40,000
預り金	45,873	45,873
合計	510,439	155,873
次期繰越収支差額	9,956,859	9,139,607
固定資産	1,925,358	1,799,148
正味財産	11,882,217	10,938,755

### 3. 固定資産の取得価格、固定資産除却額はなし。

科目	取得価格	固定資産除却額	当期末残高
定期預金	-	-	1,799,148
-	-	-	-

## 財 産 目 録

平成28年3月31日現在

(単位:円)

科 目		金 額	
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金	現金手許有高	232,588	
普通預金	三菱東京UFJ銀行上野中央支店	8,428,892	8,661,480
未収入金			
	会費	310,000	
	事業費(東商エコリーグ等)	300,000	610,000
前払金			
	会費	24,000	24,000
流動資産合計			9,295,480
2 固定資産			
特定費用準備資金(普及啓発活動積立資金)			
	定期預金 三菱東京UFJ銀行上野中央支店	1,799,148	
その他の固定資産		0	
固定資産合計			1,799,148
資産合計			11,094,628
II 負債の部			
1 流動負債			
未払い金		0	
法人税等未払金		70,000	
前受金	協賛会費	40,000	
預り金	源泉所得税	45,873	
流動負債合計			155,873
2 固定負債			
		0	
固定負債合計			0
負債合計			155,873
正味財産			10,938,755